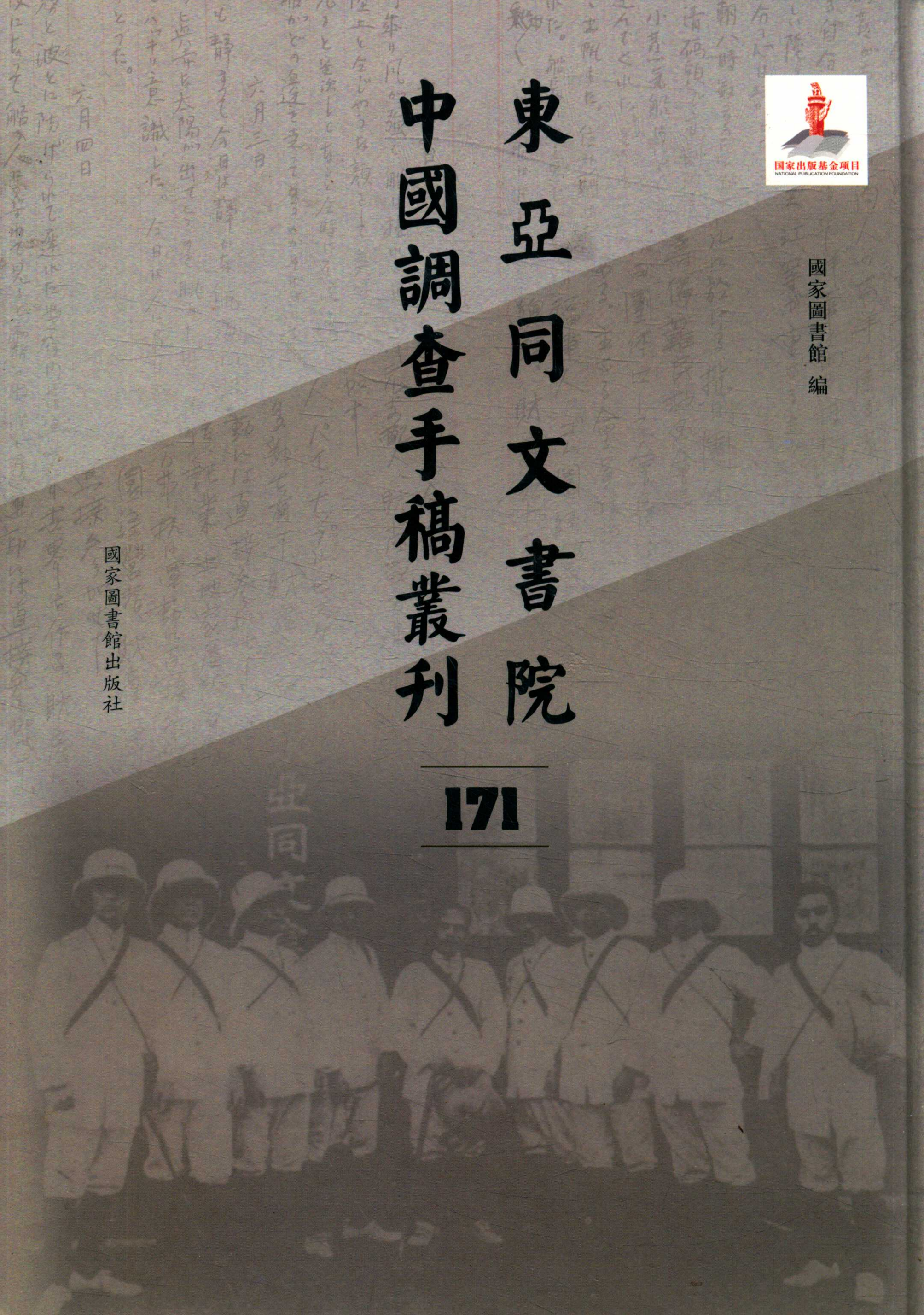


國家圖書館 編

東亞同文書院 中國調查手稿叢刊

171

國家圖書館出版社





國家出版基金項目
NATIONAL PUBLICATION FOUNDATION

國家圖書館編

東亞同文書院
中國調查手稿叢刊

171

國家圖書館出版社

第一七一冊目錄

昭和十五年（一九四〇）調查報告（第三十七期生）

北京に於ける絨氈工業

北京的地毯工業 日野原朝典

河北省定縣の財政

河北省定縣的財政 齋藤保夫

北支那經濟開發卜日支合作問題ニ就テ（一）

華北經濟開發與日中合作問題（一） 阿部善種

北支那經濟開發卜日支合作問題ニ就テ（二）

華北經濟開發與日中合作問題（二） 阿部善種

北支那經濟開發卜日支合作問題ニ就テ(三)

華北經濟開發與日中合作問題(三) 阿部善種 五四三

北支に於ける自動車交通に就いて

關於華北的汽車交通 蜂巢一郎 六七七

昭和十五年度

北京に於ける絨氈工業

河北省調査第二班

日野原朝典

東亞同文書院大學學生調査大旅行指導室

第一節	絨氈工場の人的構成
第二節	労働者の供給
第三節	職人
一	年齢の分析
二	賃銀及び寄食制度
三	休日
四	労働時間及び夜業
五	結始状態
六	衛生状態
第四節	徒弟

5

附四、

同業公會規則

目次

第一章 支那絨氈工業の概観

第一節 絨氈工業の地域的分布

支那に於て地毯又は毯子と呼ばれる絨氈は、支那羊毛の剛直粗大なる性質を最も有効に利用したものであつて、主として天津より包頭に至る京包線一帯に於て製造されて居り、天津及び北京を以てその中心とする。原産地は中東、アフジア、あるが西漸してトルコ、ペルシヤ、絨氈となり、東漸して支那絨氈となつたのである。従つて東漸の経過地たる新疆、チベット、甘肅、寧夏、陝西、綏遠、山西等の諸省に於ても製織されて居り、模様、製織法等に於て夫々特色を有して

包頭に於ける絨氈工業について									
は安齋氏が詳細な研究									
を發表されてゐる如く									
(滿鉄調査月報 昭和五年五月号)									
昨年一月に於て合計六									
十人の製織職人(鞣工)を有する七工場が存在してゐたので									
あるが、現在(本年六月下旬)ニ工場が停業し五工場によつ									
て生産されてゐる。									
厚和に於ては一九二五年に二十工場があつたが現在は									
次カ通りである。									
天順勤工廠――六十人(徒弟七十八人を含む)									
天徳榮工廠――五十人(徒弟十七十八人を含む)									
純義恒工廠――四十人(徒弟四十五人を含む)									

10

以上の外、山東省に於ても相當製織を以てゐる。一九二									
九年、濟南に於ては十二工場が存在したが、現在、は次の三									
工場があるのみである。而して以前は輸出にも充てられ									
ゝゐたが、現在、は僅に地方的需要を充すにすぎない。									
同盛和工廠――資本三千九百圓（個人）職人二十二名、織機四									
台、一年四千平方市尺製織									
春得利工廠――資本一千九百圓（合資）職人十三名、織機四									
台、一年三千平方市尺製織									
祥記工廠――資本三百圓（合資）職人六名、外に家族二									
名従事、織機二台、一年五百平方市尺									

據 る。	録	(山東省公署建設廳第三科 民國二十九年七月調査)									
		青島には民國二十三年六工場、年産額六万えべあった									
る	青島商工案内	現在外人の経営にかゝる Springtas Carpet Factory がある									
		外、土著工場については不明である。									
上	海	上海にては一九二九年當時三十数軒の工場を有し、相									
		當大規模の工場もあった様であるが、現在詳細な事は不									
明	である。	たゞ知りえた限りで大規模のものをあげれば									
		次々如くなる。(民國二十九年夏戦後上海暨全国各大工廠調査									
録	民國二十九年上海市工商調査所編上海市工商行名録に										

大北地毯公司	—	資本金二萬五千元	一九二〇年設立
大東地毯公司			
中國地毯公司	—	職工三十八人	
公義成地毯廠	—	資本金一萬兩	一九〇七年設立
北洋地毯廠	—		
金龍地毯公司	—	資本金十萬元(五萬元?)	
恒豐永地毯公司	—	資本金一萬元	職工百十人
義昌恒地毯店	—	資本金二萬元	一八九二年設立
德盛永地毯號			